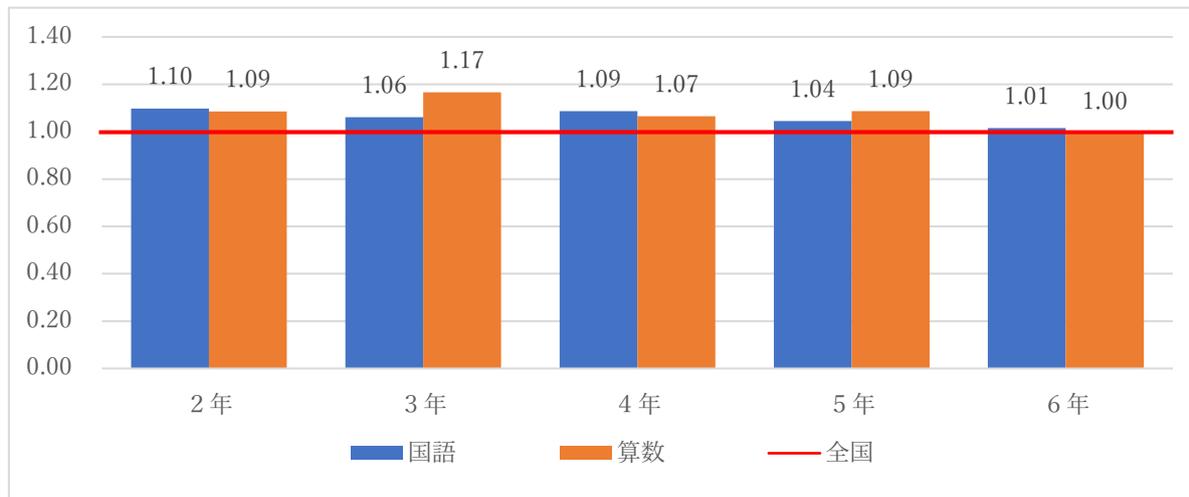


令和5年度 全国学力・学習状況調査及び学習到達度調査について

第三中学校区 田井小学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※小学2～5年生は学習到達度調査、小学6年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

学習到達度調査	国語	「書くこと」の領域ではすべての学年で目標値を上回る結果であった。引き続き反復練習の継続によって基礎的な力の定着を図るとともに思考力・判断力を育成する授業構想を工夫する。
	算数	基礎基本・計算領域において市の平均を上回る結果であった。「主体的に学習に取り組む態度」にかかわる問題での正答率が高く、今後も主体的な学びにつながる課題提示を継続する。
全国学力・学習状況調査	国語	平均正答率は全国平均を上回った。今後も他教科やディベート学習とも関連づけ、資料や図表等を用いてわかりやすく伝える活動を通して書く力を伸ばしていく。
	算数	計算領域においては全国平均を上回る結果であった。記述式問題でも、粘り強く自分の考えを記そうと取り組んだことがわかる。図形の意味や性質をもとに考える問いについては、意味理解を図りながら今後も学習を進めていく。
	質問紙	学級会で話し合い互いの意見の良さを生かして解決方法を決めているかの肯定的回答の割合が高かった。学級ディベートとの相乗効果も期待できる。

○学力向上の取組

【 中学校区 】

小中一貫校区部会の「学力向上部会」において、学力調査の結果分析に基づいた対策を共有し、義務教育9年間を通じて児童・生徒が主体的に学び合える授業づくりをめざしている。

また、三校授業交流会や合同研修会等により、校区全体で学力向上に努めている。

【 学 校 】

学力調査の分析をもとに、つきたい力を明確にした授業改善を図る。反復練習や家庭学習で基礎基本となる力を定着させ、校内計算検定や漢字検定の取組も継続する。週2回の学力アップタイムでは発展的な問題やデータや図表をもとに考える問題を、放課後学習では苦手克服や授業の補充的学習を中心に学力向上に取り組んでいる。